

アカゲラ通信



2016年の初日の出はぎりぎりだった

あけましておめでとうございます 今年もよろしくお願ひします

元日の初日の出、今年も拝むことができました。

雲が多く、見られないかと思われましたが、7時過ぎ、地平線近くの薄い雲の向こうに力強い朱色の太陽が輝き始めました。

しかしその時に東の空を見ると、都心より向こうが雪で見えない。

太陽の下が地平線より上った頃から、旭山も天気が悪化。

日の出から20分で写真2枚目のように吹雪模様になりました。

雪がもう少し早く降っていれば、初日の出は拝めなかつかもしません。

来訪者は350人以上を数え、昨年より多く、7時には駐車場に入れない車が道路に列をなす一方、今年は人が帰り出すのが早く、7時10分にはもう駐車場に向かう人の列ができていました。

大きな混乱や事故もなく平穏な旭山の元旦でした。

◆旭山で初日の出を見るようになりますが、その間に人々の行動が変わったのを感じます。

以前は、展望台の高い所で漠然と東方向を見て初日の出を待つ

若者が多く、太陽が昇ってから「あっちの方向だったのか」と

言う人が多たのですが、3、4年前から、展望台の前の方で正確に南東を見て待つ人が多くなりました。

これはおそらくスマホの普及により、正確な情報を得ることができるようにな

また今年は、展望台の上よりも初日の出が見やすいため、写真3枚目のように、展望台から降りた場所で待っている人が多かった印象があります。

太陽は昔も今も変わらないはずですが、人は時代により変わるものなのだと思います。



2016年初日の出



予告：「スノーキャンドル」「旭山冬のフェスティバル 2016」

●「スノーキャンドル」1月24日(日)午後から(時間未定、詳細後日)

展望台の周りで、雪で作ったランタン「スノーキャンドル」の明かりをともします。

●旭山冬のフェスティバル 2016：2月11日(木・祝)10時～14時半

旭山のイグルーは冬の風物詩。スノーシューウォーク、クラフトなど。

参加費大人200円中学生以下100円未就学児無料、豚汁100円別売り

どちらも事前申し込み不要、ご参加お待ちしております！



「旭山すごろく」で遊びませんか？

旭山記念公園と旭山都市環境林の四季を遊びながら学べる

「旭山すごろく」ができました。

「森の家」に1月限定で展示しています。

ぜひご来館の上遊んでみてください。

すごろくをして旭山を歩くと、

新たな気づきがあるかもしれませんですよ。



2015年12月からの野鳥の動き

12月の旭山の野鳥の動きをまとめてみました。

- ギンザンマシコ**: 12月から西岡水源池通りのナナカマドの街路樹にギンザンマシコが来ていると話題になりました、多い時は10人以上が街中でカメラを構えたり観察したりしていたそうです。旭山には来ていませんでしたが、1月5日に雄1羽が飛んで来ました。今後も現れる可能性はありますが、旭山ではこの冬ナナカマドの実が不作で、ナナカマドが目当てであればそれこそひょっこり現れる程度かもしれません。
- ヒレンジャク**: 12月下旬に50羽程の群れがやって来ていましたが、大晦日までには見られなくなりました。しかし1月3日に再び50羽の群れを確認。5日にも2羽がヤドリギに来ており、まだしばらく滞在する可能性があります。
- オオアカゲラ**: 以前ほどではないですがまだ比較的よく現れています。
- クマゲラ**: 園内の近い場所で散発的に見られる他、円山に移動する声や姿も確認されています。
- カケス(右写真)**: 2羽か3羽がまだよく見られます。
- エナガ**: 引き続き数羽の群れが日に何度か見られます。
- ウソ**: 声は割とよく聞かれますが近くで見る機会は少ないです。
- ハシブトガラ**: 年末から囀りが本格化し聞くことが多くなりました。



冬は「スノーシュー」の季節、でも「スノーシュー」て??

旭山記念公園ではこの冬も「スノーシュー自然観察会」を行います。

第1回は1月23日(土)10時から、参加申し込み受付中、2月以降はまたあらためてご案内します。ところで、「スノーシュー」という言葉、何かおかしくないですか???

靴は左足用と右足用の2つが揃って1足、英語では片方だけなら”shoe”、両方揃って”shoes”となり、「靴」を意味する「シューズ」は外来語としても日本に定着しています。

でも、「スノーシュー」はもちろん左右両方揃えて使うのに、なぜか「スノーシューズ」とはいわない。

英語ではちゃんと”snow shoes”=「スノーシューズ」と複数形にして呼び習わしているのに、です。

つまり「スノーシュー」は一種の「和製英語」なのです。

なぜこうなったかとの考察してみると、「スノーシューズ」とした場合、「雪の上を歩ける普通の靴の形をした履きもの」と捉えられてしまう可能性があるため、あえて別ものと分かりやすくするために「スノーシュー」と呼ぶことにした、というのがひとまずの結論です。

「スノーシュー」を「西洋かんじき」と呼ぶ人もいますが、

この方がかえって分かりやすいですかね。

なんて理屈は抜きにして、「スノーシュー観察会」、

お気軽にご参加ください!



■スノーシュー貸出しています

土日祝日10時~15時の間で時間無制限、1人1回100円、「森の家」までお越しください。

編集 後記

今年は雪が少なく、1月5日現在まだスノーシューでようやく歩けるという程度。

天気予報によれば1月は平年並みかやや気温が低めとのこと。

雪が少ないので確かに生活は楽ですが、一方で不安を覚える部分もあります。

ともあれ、今年多くのイベントがある旭山へ、ぜひお越しください。



公式サイト

「アカゲラ通信」 第26号 2016(平成28)年1月5日発行

発行:(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所:〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先:電話011-200-0311(土・日・祝日10時~16時) FAX011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/>